

大 手 町 で お 能 を 楽 し む

◆ 第二部 ◆

能

◆ 第一部 ◆

ひとり 語り

船弁慶

後之出留之伝



風間杜夫

2015年 7月31日 [金]

開場 18:30 開演 19:00

入場料 S席 5,500円 A席 3,500円 (税込)

チケット取り扱い

- ◆よみチケ <http://www.yomi-ticket.com/>
- ◆チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 442-699)
- ◆ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード: 38471)
0570-000-407 (オペレーター対応 10:00~20:00)
- ◆イープラス <http://eplus.jp/>

※全席指定、未就学児のご入場はご遠慮ください
※曲目、出演者はやむを得ぬ事情により変更させていただく場合がございます。
公演中止を除き、購入後のチケットのキャンセル、変更などはできません

【主 催】 読売新聞社
【企画制作】 公益社団法人 能楽協会 / アーツ・シアター・ネットワークス

【お 問 い 合 わ せ】 読売新聞東京本社ホール企画部
03-6739-5838 (平日10時~17時)
※チケットのお申し込みはお受けしていません

よみうり大手町ホール

地下鉄「大手町駅」C3 出口直結

撮影: 亀田邦平

大手町で
お能を
楽しむ

後之出留之伝

船弁慶

能「船弁慶」は、平家討伐に功績を立てたにも関わらず、兄源頼朝に疎まれた義経が弁慶たちと西国に落ち延びていく道中が描かれています。義経と静御前の切ない別れや、平知盛の亡霊とのダイナミックな立ち回りが見どころの、人気の高い演目です。

第一部では「船弁慶」のストーリーを現代語訳した「ひとり語り」をお送りします。現代劇はもちろん、歴史物や古典芸能の脚本、演出まで幅広く手がける石川耕土が、これまで描かれることがなかった新しい視点で「船弁慶」の世界を書き下ろしました。出演は舞台、映画、テレビ、ナレーション、そして落語にも取り組み独演会を開くなどマルチに活躍する実力派俳優・風間杜夫。その多彩な才能で、登場人物それぞれの心模様を豊かに描き出します。

第二部の能はシテ方宝生流、武田孝史ら贅沢な配役でお送りします。太鼓は人間国宝・三島元太郎がつとめ舞台を引き締めます。シテ(主役)は前半は美しい静御前を、後半は恐ろしい怨霊を演じ、舞も、謡も優美で荒々しいドラマティックな世界が展開します。

登場人物の複雑な心情を、わずかな動作で表す能に対して、選ばれた言葉と抑えられた演技で表現される「ひとり語り」、それぞれの「船弁慶」の世界を存分にお楽しみください。

第一部 ◆ ひとり語り「船弁慶」

F U N A B E N K E I

風間杜夫
(俳優)

1949年東京生まれ。早大演劇科、俳小附属養成所を経て、1971年「劇団表現劇場」を結成。1977年以降、つかこうへい事務所『熱海殺人事件』『蒲田行進曲』などに出演。特に『蒲田行進曲』は映画化され、日本アカデミー賞最優秀助演男優賞など多数受賞。2003年文化庁芸術祭賞演劇部門大賞、2004年読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞。2010年紫綬褒章受章。

第二部 ◆ 能「船弁慶 後之出留之伝」

F U N A B E N K E I

あらすじ・みどころ

兄頼朝と不和となった義経(子方)は、都を出て船に乗る為に摂津国大物の浦に向かう。弁慶(ワキ)は静御前(前シテ)を還すよう義経を説得すると、静は泣く泣く出舟を寿ぐ舞を舞い、一行は静を残して海上に船を出す。初めは穏やかだった海がにわか荒れ、平知盛(後シテ)の亡霊が現れると義経に襲いかかってくる。義経は少しも騒がず応戦し弁慶も調伏すると、さしもの悪霊も恐れ消え失せる。

今回は「後之出留之伝」という小書がついて、後シテの装束は、袷法被を袷狩衣に替えて衣紋に着、鍬形も金から銀に替わる。半幕で「そもそも是は」と謡い、地謡の「声をしるべに」でシテの姿を見せ、終末はシテが幕に走り込んで、再び半幕でシテの後姿をみせるという、総じて知盛の威厳を示す演出となる。

シテ
武田 孝史
シテ方宝生流



ワキ
宝生 欣哉
ワキ方宝生流



アイ
三宅 右近
狂言方和泉流



笛
一噌 隆之
笛方一噌流



小鼓
鵜澤 洋太郎
小鼓方大倉流



大鼓
安福 光雄
大鼓方高安流



太鼓
三島 元太郎
太鼓方金春流



地頭
小倉 敏克
シテ方宝生流



主後見
金井 雄資
シテ方宝生流



附祝言

後見

金井 雄資
小倉 健太郎

地謡

東川 尚史
亀井 雄二

今井 泰行
水上 優

船弁慶

後之出留之伝

シテ 武田 孝史
子方 水上 達

能 (宝生流)

ワキ 宝生 欣哉
ワキツレ 則久 英志
ワキツレ 御厨 誠吾

アイ 三宅 右近

大鼓 安福 光雄
小鼓 鵜澤 洋太郎

太鼓 三島 元太郎
笛 一噌 隆之

金井 賢郎

朝倉 俊樹

當山 淳司

小倉 敏克